

風雲！たぬき城

一里山を守り抜け！天下分け目の化け比べー

大狸といわれた徳川家康が、江戸に幕府を開き約300年。江戸の森は狸たちが平和に支配を続けていた。ところが、ペリ提督率いる黒船の出現により、日本は鎖国の夢から覚め、西洋列強に負けぬ国を作るため、薩摩と長州は手を結び、幕府に挑戦状を叩きつけた。時を同じくして、江戸の森でも狸の独裁を覆そうとする狐たちの動きがあった。

たぬき城家臣の娘「きぬた」は、人間界の戦況と里山の危機を亡き父に代わって城主に伝えるようとするが、意地悪な継母たちのイジメに遭い、簡単にはかなわなかった。そんな時、江戸城無血開城の会談が西郷隆盛と勝海舟の間で開かれることになった。いったんは決裂した二人であったが、狸と狐の知恵により、見事江戸城無血開城が成し遂げられ、江戸の里山も守られることになった。

そんな事件を通してながら「きぬた」は、あたかもシンデレラストーリーのごとく、たぬき城の若君「狸吉郎」とめでたく結ばれることになり、江戸の里山には以前にも増して平和が訪れ、狸や狐たちが叩く盛大な太鼓の音が鳴り響くのであった。



1 スペシャルバンドの生演奏が盛り上げる 2 狸と狐の戦い
3 狸と狐が手を組んでの一番。勝・西郷会談をまとられるか。西郷隆盛役(右)の衣装はなんと大河ドラマ「西郷どん」で実際に使われたもの 4 きぬたと狸吉郎が結ばれ大団円のフィナーレ

奥州の市民劇

手作りの感動を

ことしも泣いた、笑ったー

市民による手作りの舞台が、市内の3つの会場で上演されました。テーマは、地域の実話をもとにしたものから狸が主人公のものまでさまざま。

大勢のスタッフ・キャストが数カ月間にわたり準備や稽古に励んできました。その情熱こそが感動を呼び、多くのファンを惹きつけるのでしょう。

どの会場にも多くの観客が詰め掛け、カーテンコールではスタッフ・キャストに惜しみない拍手がいつまでも送られていました。

- ▶ 1月26日、27日
第11回奥州市民★文士劇
「風雲！たぬき城」
一里山を守り抜け！天下分け目の化け比べー
江刺体育文化会館（ささらホール）
- ▶ 2月17日
第19回奥州前沢劇場
「どこまでも続く空」
前沢ふれあいセンター
- ▶ 2月24日
第35回奥州胆沢劇場
「路～ただひたすらに～」
胆沢文化創造センター

どこまでも続く空



1 東吾はGHQの車を助ける 2 東吾とアメリカを憎む幹三は気持ちがいすれ違う 3 ジャックから英語の本が贈られ喜ぶ子どもたち 4 逃げた牛を追いかける直政 5 東吾のカレーがみんなの心を温める



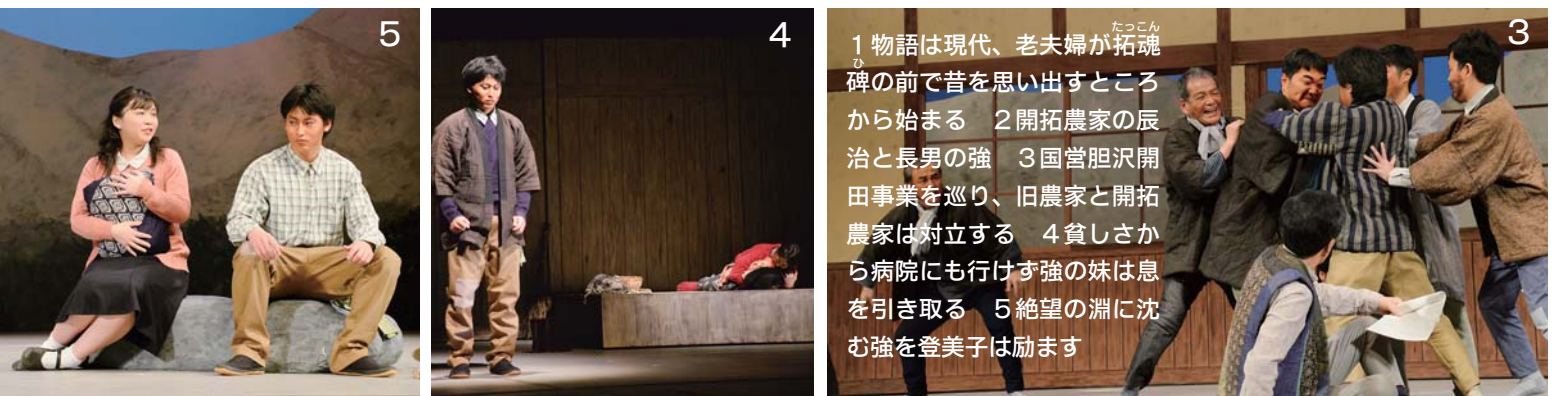
路～ただひたすらに～



戦後開拓で入植した開拓農家の暮らしは、依然として苦しいまま。開拓農家の辰治一家は、開拓組合長の職務に忙殺される辰治に代わって、長男の強が一家の働き手となっていた。

昭和30年、国営胆沢開田事業が計画されるが、開拓農家の期待とは裏腹に旧農家の反対意見が相次ぎ事業は進まない。

昭和32年12月、猛烈な風と雪が大畑平を襲い、辰治一家に大きな悲劇をもたらす。



1 物語は現代、老夫婦が拓魂碑の前で昔を思い出すところから始まる 2 開拓農家の辰治と長男の強 3 国営胆沢開田事業を巡り、旧農家と開拓農家は対立する 4 貧しさから病院にも行けず強の妹は息を引き取る 5 絶望の淵に沈む強を登美子は励ます